

同志社キャラクター

「八重さん」誕生!

2011年11月6日、学校法人同志社のNHK2013年大河ドラマ「八重の桜」関連プロジェクトから「八重さん」が誕生しました。



同ドラマの主人公となる同志社の創立者・新島襄の妻、八重に関して、同志社には数々のエピソードが伝わっています。そのどれもが、八重の凛とした生き様、時には厳しく頑固な面もみえますが、内に秘めた「優しさ」と「聡明さ」を伝えていきます。その1つに、夫の襄が、自身のことは八重に「襄」と呼び捨てにさせ、自らは八重を「八重さん」と呼んでいたというものがあります。今回の新キャラクター誕生では、このエピソードに基づき、現代の私たちも、新島襄にならない、親しみを込めて「八重さん」と呼ぶことにしました。

学校法人同志社の広報の一翼を担う「八重さん」を、皆さん、可愛がってくださいね。

※「八重さん」は、学校法人同志社100%出資会社である株式会社同志社エンタープライズの商標登録出願中です。

(広報課)

NHK2013年

大河ドラマ「八重の桜」

制作班来学

9月9日、NHK2013年大河ドラマ「八重の桜」制作班の、脚本家の山本むつみ氏、チーフプロデューサーの内藤慎介氏、演出の加藤拓氏がNHK京都の井上総局長とともに同志社を訪ねられました。



女子大学の加賀学長、大学からは松岡副学長らがお出迎えし、歓談しました。NHK側から、ストーリーや配役などについて、多くの方から注目が舞い込んでいる状況について説明があり、同志社からも卒業生を含め、ドラマの展開に大きな期待を寄せ、この話題で盛り上がっていることなどを伝えました。

今回は、キャンパスの重要文化財や登録有形文化財の建築物をご案内し、翌日には同志社共葬墓地訪問と新島旧邸見学をしていただき、同志社の雰囲気をつぶりと味わっていただきました。

(広報課)

同志社大学×京阪電車連携

イベント「駅コンサート&マジックショー」

三三三ステーション!開催

9月23日、駅コンサート&マジック

ショー「三三三ステーション!」を京阪電車三条駅(京都市東山区)で開催した。昨年に引き続き



2回目の開催、また連休ということもあり、開演前からたくさんの方が会場を訪れ、賑わいを見せていた。

今年はいベント開催にあわせて、京阪電車が科目を担当されているプロジェクト科目「平成の京街道をゆく〜京阪沿線の魅力を発見・発掘・発信しよう!」の成果発表も行われ、学生たちが資料を用い、淀や伏見などをテーマに研究成果を発表した。同時に成果発表をまとめたパネル展示も行われ、多くの方が見入っていた。



学マジック & ジャグリングサークル「Hocus-Pocus」が出演した。会場に設置された座席が満席になる中、同志社グリークラブが「Doshisha College Song」



イベントでは、学生支援センター所長ならびに京阪電車京都エリア駅長の挨拶が行われた後、男声合唱団「同志社グリークラブ」と「同志社大」

「上を向いて歩こう」など5曲を披露し、駅構内を行き交う多くの方も足を止めて学生の歌声に耳を傾けていた。また、Hocus-Pocusによるカードマジックを使ったマジックやジャグリングが披露されることに拍手や歓声があがり、笑顔が広がった。コンサート、マジックショーのどちらもアンコールが起るなど、プロジェクト科目の発表も含めた観客の述べ人数は470人近くとなり、大盛況のイベントとなった。

(広報課)

脳科学研究科設置記念
講演会開催



9月12日、京田辺キャンパスで脳科学研究科設置記念講演会を開催し、パッチクランプ法の開発により1991年にノーベル生理学・医学賞を受賞されたアーウィン・ネーハー教授と、青少年の国際科学教育拠点X-Labの設立者エバマリア・ネーハー教授夫妻に、それぞれ「脳内シグナルのしくみ」と「自然科学教育の展開」について、講演をしていただいた。



エバマリア・ネーハー教授はX-Labの設立者・役員常務、ゲッティンゲン大学の名誉教授を務められている。X-Labはドイツ・ゲッティンゲンにある若者向けの実践教育機関で、高校と大学との溝を埋めるための科学教育を実施しており、学生に科学に興味を持たせ、また将来、科学者としての道を選択してくれるよう方向づけることを大きな目的としている。科学教育へのアプローチを親しみやすい口調で学生に語りかけるように話されていたのが印象的であった。

アーウィン・ネーハー教授はドイツ・ゲッティンゲンのマックス・プランク生物物理化学研究所理事、ゲッティンゲン大学名誉教授を務められている。1991年にマックス・プランク生物物理化学研究所にてパッチクランプ法を開発した業績によっ

て、ベルト・ザックマン氏と共にノーベル生理学・医学賞を受賞されている。その輝かしい研究業績を表すような風格を感じさせる一方で、終始、柔和な表情を浮かべながら講演をされ、特に講演後の参加者からの質問に対し、講演で使用した資料を再度スクリーンに映しながら熱心に回答を示された姿からは、真摯な科学者としての氏の姿勢を垣間見ることができた。

当日は、全編が通訳なしの英語による講演会であり、専門的な内容であるにもかかわらず、80人近くの参加者があり、脳科学研究分野への関心の高さを感じさせる一日となった。

(脳科学研究科設置準備室)

アーチエリート部
全日本学生選手権大会優勝!

9月14日～16日、服部緑地陸上競技場(大阪府)で開催された第50回全日本学生アーチエリート個人選手権大会で、佐藤真奈美さん(スポーツ健康科学部1年次)が初優勝を果たした。同大会女子の部では36名が予選ラウンドを行い、上位16名で決勝ラウンド(トーナメント方式)を競った。本学からは4



写真提供: 同志社スポーツアトム編集部

名が出場。佐藤さんは予選ラウンドを高得点で通過し、決勝ラウンドでも最後まで攻めの姿勢を崩さず、見事全国制覇を成し遂げた。

また、10月14～16日、佐伯国際アーチエリートランド(広島県)で開催された第24回全日本学生フィールドアーチエリート選手権大会で、土岐秀幸さん(経済学部4年次)が二連覇を達成した。予選を1位で通過した土岐さんは、迎える決勝ラウンドで1回戦こそ本調子ではなかったものの、続く2回戦以降は調子を取り戻し、準決勝・決勝では他を圧倒する行射で、昨年に引き続き全国の頂点を射貫いた。

男女ともに実力を見せつけ、最高の形で両大会を締めくくった。

(スポーツ支援課)

スポーツ健康科学部・石井研究室に京都市長から「未来の京都市まちづくり推進表彰状」贈呈

10月15日、平成23年度京都市自治記念式典において、スポーツ健康科学部石井好二郎教授の研究室(運動処方研究室)に対し、門川大作京都市長より「未来の京都市まちづくり推進表彰状」が贈呈された。この

表彰は、「いのち」「環境」「知恵」「ひと」「刷新」の各分野において、京都ならではの新しい自治モデルを築くための活動に尽力されている方の功績をたたえて贈呈されるものである。

京都市では、事務事業評価制度の改善に対する提案や各職場で行われる事務事業評価の取り組みを支援する事務事業評価サポーター制度を実施しており、平成22年度は石井教授をチームリーダーとするサポーターチーム(同志社大学学生12名、京都市庁内サポーター7名)が、「環境美」「歩いて楽しいまちづくり分野」「防災・防災分野」「歩いて楽しいまちづくり分野」「および」「文化芸術分野」を対象として、平成22年7月から活動していた。石井研究室は自然科学系の研究室だが、スポーツ健康科学部1期生である現4年次のゼミ学生8名(相場久仁香さん、青木拓巳さん、船瀬麻理子さん、片山千波さん、川勝佐希さん、桑原健輔さん、谷崎智舟さん、渡邊茉梨さん)を中心に、スポーツ健康科学の学際性を遺憾なく発揮した。今回、その活動が認められ、「刷新」分野(市民感覚を市役所の隅々にまで行き渡らせ市政の刷新に貢献する活動)での表彰となった。



(広報課)

理工学部・盛満教授が レアメタル・ベースメタルの 革新的製造方法を事業化

9月20日、理工学部環境システム学科の盛満正嗣教授が開発し、特許を取得したレアメタルベースメタルの革新的な製造方法(電解採取法)と、これに

用いる電解採取用陽極について、米国オハイオ州を本拠地とする Republic Alternative Technologies 社との間で独占的特許実施許諾契約を締結、事業化を開始したことに関する記者発表を行った。発表には Republic 社 CEO の Martin Zanotti 氏にも出席いただいた。

この技術により、二次電池や電気自動車の生産に不可欠なコバルト、ニッケルなどのレアメタルや、電池・モーターに使われる亜鉛、銅などのベースメタルを製造する際に、消費する電力量を最大30%削減することができ、また、これまでの製造方法では不可能であったスラッジ(金属汚泥)を抑制することも可能となる。これによって、レアメタル・ベースメタルの製造における膨大な電気エネルギーの消費量を削減し、同時に、CO₂や有害物質の排出といった環境負荷も大幅に低減することができるようになる。

(広報課)

関西4大学学長フォーラム 開催

9月4日、東京の丸ビルホールで「震災からの復興に必要な力〜未来を切り拓く人材を育てる〜」をテーマに関西4大学学長フォーラムを開催した主催…同志社大学・関西大学・関西学院大学・立命館大学、共催…読売新聞社)。岩手県陸前高田市参与でワタ

ミ株式会社取締役会長の渡邊美樹氏による基調講演では、「日本復興に求められるものとは？」問



題を解決する人材を〜」をテーマに陸前高田市での取り組みを例にお話しいただいた。また、「いま、私たちにできること」をテーマに、4大学の在学生と渡邊氏によるトークセッションも行われた。続くパネルディスカッションでは、読売新聞グループ本社取締役最高顧問の老川祥一氏をコーディネーターに、関西4大学の学長で「震災からの復興に必要な力〜未来を切り拓く人材を育てる〜」をテーマに討論した。4学長は、それぞれ以下のように語った。

「想定外の事態にも、自ら判断できる人材を育てたい」(八田英二同志社大学学長)、「ボランティアの実践を通じて、社会に関心を向けることが大切」(補見晴重関西大

学長)、(阪神大震災の経験や奉仕の精神を伝えなければならない) (井上琢智 関西学院大学学長)、「組織を作った動かす力が求められている」(川口清史立命館大学学長)。



当日は、400人を越える高校生、ご父母、教育関係者らにご来場いただいた。また、会場内特設スペースでの「関西4大学紹介コーナー」では、各大学の資料などを取り揃え、フォーラムは大盛況のうちに終了した。

(広報課)

同志社大学 震災救援義援金のご報告

2011年度春学期末をもちまして、同志社大学震災救援義援金の受け付けは終了いたしました。2011年5月16日に日本赤十字社へ送付して以降にお寄せいただいた義援金は、次のとおり送付しました。

募金額…103,000円

送付先…キリスト教学校教育同盟

送付日…2011年7月1日

募金額…120,056円

送付先…日本赤十字社

送付日…2011年10月7日

皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。
(キリスト教文化センター)

第40回

Nessima Room 企画展

「京都の中の同志社

―相国寺、朝廷と明治の近代化―



今回の展示では、現在もまだ一部で続行中であるもののキャンパスの発掘調査が一段落したことを受けて、その成果を中心としてさらに京都の歴史を遡った展示を企画しました。

花の御所から相国寺、さらに公家屋敷町屋が立地したこの地を、出土した遺跡・遺物などから辿ってみて近代京都に至る、まさに「京都の中の同志社」を展覧します。

遺跡・遺物・書画などからどのような歴史が垣間見ることができているのか、その確たる像を十分に画くことはできませんが、今回の発掘は多大なヒントを与えてくれるものであると思われれます。また、京都の近代化において同志社がどのような意味を

もっていたのかということも考えていただけるのではないかと思います。どうぞ様々な思いをめぐらせてお楽しみください。

【展示期間】1月31日(火)まで

ただし、祝日、12月23日(金・祝)から1月5日(木)は閉室

【時間】10時～17時(土・日は16時まで)

【会場】今出川校地ハリス理化学館2階
Neesima Room

【入場料】無料

【共催】同志社史資料センター、歴史資料館

【出陳協力】島津製作所創業記念資料館

【お問い合わせ先】同志社史資料センター
TEL: 075・251・3042

【シンポジウム】

【日時】12月17日(土) 13時30分～15時30分

【会場】今出川校地明德館1番教室

【テーマ】京都の中の同志社

【報告者】鋤柄俊夫 文化情報学部教授

【公経と義満】

浜中邦弘 歴史資料館准教授

【公家社会と京都】

小枝弘和 同志社史資料センター
社史資料調査員

【明治の近代化と同志社】

今年度の
新司法試験結果について

9月8日、本年5月に実施された新司法試験の合格者が法務省から発表されました。本研究科(同志社大学法科大学院)

の修了者は65名の合格(昨年は55名)であり、法科大学院別合格者数では全国第9位でした。関係の皆様方には日頃のご支援にお礼申し上げますとともに、今後ともご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(司法研究科)

■平成23年度 新司法試験
法科大学院別合格者数

順位	大学名	合格者数
1位	東京大学	210人
2位	中央大学	176人
3位	京都大学	172人
4位	慶應義塾大学	164人
5位	早稲田大学	138人
6位	明治大学	90人
7位	一橋大学	82人
8位	神戸大学	69人
9位	同志社大学	65人
10位	東北大学	54人

前号(168号)掲載記事について

168号記事に誤りがありました。

■キャンパスニュース

●本学教員の執筆図書を紹介

【誤】川崎知巳

← 【正】川崎友巳

以上、訂正してお詫びいたします。

本学教員の執筆図書を紹介 (図書館調べ(価格は税別))

成年後見法制の展望

竹中勲 他執筆 日本評論社 5,200円
ケースブック労働法 第3版
土田道夫 他執筆 有斐閣 4,800円
条文から学ぶ労働法
土田道夫 他著 有斐閣 2,800円

認知行動療法を学ぶ

武藤崇 他著 金剛出版 3,600円
歴史教育とジェンダー
荻野美穂 他著 青弓社 1,600円

代理の研究

佐々木典子 他執筆 日本評論社 8,000円
翻訳の思想史
三ツ木連天 著 晃洋書房 3,700円

テキスト原価計算入門

中川優 他執筆 中央経済社 2,800円
感情マネジメントと癒しの心理学
久保真人 編 阪田真(子) 藤本哲史 井口真 他執筆 朝倉書店 3,400円

新たな社会福祉学の構築

梅井康彦 他執筆 中央法規出版 4,000円
日本文学の「女性性」
佐伯昭子 他編執筆 思文閣出版 2,300円

経済思想のなかの貧困・福祉

西岡幹雄 他執筆 ミネルヴァ書房 3,500円
地域の自律的蘇生と文化政策の役割
井口真 編著 学文社 2,300円

日本通商政策論

岡本由美子 他執筆 文芸堂 2,800円
中学校新学習指導要領の展開 社会科学編
篠原総一 他編著 明治図書出版 1,700円

金融政策 第3版

鹿野嘉昭 他著 有斐閣 2,400円
日本古典文学研究の新展開
岩坪健 他執筆 笠岡書院 1,200円

パースフラグマティズム」の研究

新茂之著 晃洋書房 4,500円
現代中国経済論
嚴善平 他執筆 ミネルヴァ書房 3,200円

スポーツ指導者のためのスポーツと法

坂井智明 他著 峯崎野書院 2,100円
奥村正雄 川崎友巳 十河太郎 松原久利 他執筆 悠々社 2,800円

政策研究

カク島幸 他執筆 福村出版 2,800円
ソーシャル・キャピタルのフロンティア
柴内康文 他執筆 ミネルヴァ書房 3,500円
スポーツ法への招待
川井圭司 他執筆 ミネルヴァ書房 3,500円

〈都市〉のアメリカ文化学

白川恵子 他執筆 ミネルヴァ書房 3,000円
触媒調製ハンドブック
高津淑人 他執筆 エヌティーエス 6,160円

「働く」を学ぼう

千田忠男 浦坂純子 三山雅子 富田安信 阿形健司 寺井基博 上田眞士 森山登彦 石田光男 執筆 人文書院 1,500円

情報資源組織論

原田隆史 他執筆 樹形房 2,100円
社会保障法・福祉と労働法の新展開
西村健一郎 他執筆 信山社 1,600円

入門・日本経済 第4版

篠原総一 他編著 野間敏克 他著 有斐閣 3,350円
憲法の基本 第2版
尾形健 他執筆 法律文化社 2,600円

大学で学ぶ西洋史

山田史郎 他編著 肥後本男 村田晃嗣 他執筆 ミネルヴァ書房 2,800円

新・注解 特許法 上巻

井関源子 他執筆 青林書院 1,700円
新・注解 特許法 下巻
井関源子 他執筆 青林書院 1,900円

ブリッジブック法システム入門」第2版

武蔵勝宏 他著 信山社出版 2,700円
英語研究と英語教育
玉井史絵 他執筆 大修館書店 3,200円

ロシア・拡大EU

月村太郎 他執筆 ミネルヴァ書房 3,500円
アメリカ抵触法 上巻
吉川英一郎 他訳 レンシネクスジャパン 5,000円
アメリカ抵触法 下巻
吉川英一郎 高杉直 他訳 レンシネクスジャパン 6,000円

現代アメリカの政治文化と世界

肥後本男 他編執筆 昭和堂 2,800円
浜矩子の「新しい経済学」
浜矩子 著 角川SUNSHINE文庫 780円

自我发现之旅

光阴似箭。虽然不知不觉在日本已经度过了三年的时光，但每当回想起当年毅然决然来到日本的情景，总觉得好像还是昨天发生的事情一般。早就听说日本以重视古典文化的传承而著称，古风洋溢的历史文化名城京都更是将这一点展现地淋漓尽致。出于对日本文化的喜爱，我毫不犹豫的来到了京都。

京都的大学数目众多，让人难以抉择，但最终同志社大学以其独特的自由主义，国际主义的教育理念吸引了我。我现在就读的文化信息学部，通过以数据科学为主的理科研究手法，对政治，经济，社会等一切人类活动进行信息收集，分析，以及解明，被认为是一个文理融合的崭新学术领域。很多专业课程采取小组合作的形式进行，学生们的协作能力得到了充分的锻炼。由于我是这个学部招收的第一届留学生，没有同国籍的学长可以讨教经验，所以入学之初还曾抱有一些不安。不过学校的学习支援体系非常完善，让我很快适应了大学生活。

中国有句话，叫做“好男儿志在四方”。其实我认为无论男女，趁年轻时多去一些地方都大有益处。不仅可以开阔眼界，充实人生阅历，更重要的是能使我们发现以前并不了解自己的自己。想要做什么，想要成为怎样的人，可以为之努力到何种程度，在留学的过程中，这些疑问我都渐渐找到了答案。所以，如果你也有机会踏上这种发现自我的旅程，请一定不要错过，相信这将会成为你受益终生的财富。

刘 幸

自己発見の旅

光陰矢の如し。固い決意で日本へ来たのは、まるで昨日の日のようですが、あっという間に3年も経ちました。日本は、文化の伝承を重視することで世界に知られ、特に昔の雰囲気が満ち溢れる歴史文化都市の京都はこの点がよく現れているため、日本文化に夢中な私は、迷わず京都へ来ました。

数多くの京都の大学の中から選択するのはなかなか難しいですが、最終的に同志社大学の「自由主義」「国際主義」という教育理念に惹かれました。私が所属している文化情報学部は、データサイエンスをはじめとして理系の研究手法を用いて、政治、経済、社会など、人間の営みすべてを分析したり、解明したりする新たな学問の場だと言われています。多くの授業はグループワークという形で進んでいくので、共同作業の能力が磨かれます。本学部初めての留学生である私は、最初は同じ国出身の先輩がいないことにちょっと不安を抱えていましたが、完璧な留学生サポートシステムに恵まれて、すぐに大学生活に慣れました。

中国に「良い男は四方を志す」という言葉がありますが、性別にかかわらず、若いうちにいろいろなところに行くのは誰にとっても良い経験だと思います。単に視野を広げたり、人生を充実させたりするのみならず、もっと大切なのは、今まで知らなかった自分自身を発見することです。私の場合、自分は何をやりたいのか、どのような人間になりたいのか、どこまで努力できるのか、これらの疑問は留学のおかげでだんだん分かるようになってきました。なので、もしこのような自己発見の旅に足を踏み入れる機会があったら、絶対逃がさないでください。一生の貴重な経験となりますから。

劉 幸 2010.4 ~ 文化情報学部に在学(中国出身)



同志社人
訪問

株式会社高島屋執行役員

宇都宮 優子さん



インタビュー
伯井 集穂子 さん
〔商学部4年次生〕

伯井 ●まず、宇都宮さんが今どんなお仕事をされているのかをお聞かせください。

宇都宮 ●高島屋には全国にある18店舗を統括する営業本部があつて、その中にセントラル機能としてMD本部、つまりマーチャンダイジングオフィスがあり、そこで店舗の商品戦略などを立案します。今私があるMD政策室では、ファッション、リビング、食品などカテゴリー別に担当するディレクターが、それぞれの担当分野についてマーケティングを行い、次にどういう商品開発、商品の打ち出し方をするのかを政策として出していきます。ライフデザインオフィスというセクションが別があり、たとえば世の中の流れや人びとの嗜好、環境、社会の動きを見て今後の戦略の方向性を決めるのですが、それを受けて営業としての具体的な商品・店舗政策を考えるのがMD政策室です。最も特徴的なのは、プライベートブランドやオリジナル商品の開発、これからの時代に合わせた新しい売場づくりといったことですね。

伯井 ●入社後の歩みを教えていただけませんか。

宇都宮 ●当社には新入社員はまず売場に出るという方針があつて、私も最初の2年半ほどは東京店の特選和洋食器の売場に

いました。その後、入社3年目で、JR立川駅にできる駅ビルに高島屋が専門店フロアをつくることになり、そのプロジェクトメンバーに突然選ばれたのです。

伯井 ●わずか入社3年目で、ですか！ 具体的にはどんなことをされたのですか。

宇都宮 ●同年代の25歳くらいの女性のライフスタイルを提案するショップをコンセプトに掲げ、商品の仕入れや出店をお願いするために、400社くらいの会社を訪ねて回りました。女性雑誌に掲載されている商品の撮影協力店のページを見て、そこに電話をかけたつもりでした。そうした中で象徴的だったのが、サザビীর「アフタヌーンティー」でした。まだ渋谷パルクに1号店ができたばかりで、最初は商

今回の同志社人

宇都宮 優子さん

【1979年法学部法律学科卒業】

愛媛県出身。大学卒業後、東京の大学に通う妹と一緒に暮らすことを条件に、東京暮らしをスタート。高島屋東京店・立川の駅ビルの専門店フロア開設プロジェクト、商品本部を経て、新宿出店準備室へ。2007年にはグループ初の女性店長として、高崎高島屋取締役社長(代表取締役)に就任。09年、年間売上高が同社最大の横浜店長を務め、執行役員にも就任。今年5月からMD本部MD政策室長。



品を卸すことはできないと断られていたのですが、何度も通い詰め、社

長には工事中の現場を見てもらって、ようやく出店にこぎ着けたのです。当時は、サザビーもまだ社員が150人くらいの会社で、ほかにも新しいことをやろうとしている小さな会社がたくさん生まれていた時代でした。そういう会社と一緒にビジネスをすることで、

まさに『商い』を身をもって体験させてもらいました。コンセプトを考えることから始まって、出店交渉や商品の仕入れなど、店づくりを一から手がけた、この時の4年半で商売というものの難しさも厳しさも、そして楽しさや面白さも知りましたね。

伯井 ● その後はどうされたのですか。

宇都宮 ● 29歳になった時に、当時の商品本部に異動になり、そこに10年いました。前半の4年ほどは商品開発、その後プライベートブランドのバイヤーを6年担当して、今度は新宿出店の準備室へ。統括やグループマネージャー、最後は部長を3年務め、MD本部に開設されたギフト推進室の最初の室長になりました。ですから商品本部10年、新宿店10年という感じですね。**伯井** ● ところで、そもそもなぜ高島屋に入社されたのでしょうか。

宇都宮 ● 私は1979年入社なのですが、その頃はオイルショックの後で、経済が疲弊して急速に景気が悪くなった時代でした。就職もとても間口が狭く、まず指定校制度があつて、特定の大学でなければ受験資格すら得られませんでした。男性でさえそうでしたから女性で4年制の大学を卒業したものなら就職先はほぼ皆無。しかも、女性の場合は自宅通勤を条件とするところがほとんどで、女性にとって

は二重、三重苦の大変な就職難の時代でした。**伯井** ● そんな中でどうやってその狭い門をくぐり抜けられたのですか。

宇都宮 ● 方法としては、しかるべき人に推薦状を書いていただき、まず試験を受ける資格を得ることしかありません。私は当時横浜店の店長をしていた同郷の父の先輩に推薦状を書いてもらって何とか入社試験を受けられたのです。

伯井 ● 百貨店は希望されたところだったのですか。

宇都宮 ● 超就職氷河期でしたから、そもそも受けられるところの選択肢が少なかったのです。ほかにも数社受けましたが、すべて父や大学の先生などに、推薦や紹介をしていただいたところでした。実は、正直に言うと、こういう仕事があったとか、一生仕事しようなんて思っていないで、高適な考えを持って就職したわけではないので、今、私が採用面接をするこ

ともあるのですが、入社希望者が当社に来たら何をしたいという明確な意志がなくとも、好奇心があつたり、ちょっと未完成だつたりしてもいいのかな、と私は思っています。

伯井 ● 私は来春からアパレルの小売店で店長候補として働くことになっていますが、管理職として宇都宮さんが大切にされていることがありましたらぜひお聞かせください。

宇都宮 ● まずは疑わないことですね。あまり深く考えたことではないのですが、これまでの経験で人は信頼したほうがいいと思っ

成長するよくできた人もいますが、私はどちらかというと一緒に熱くなって頑張ろうというタイプですし、自分の人生を振り返ると、先輩に成長させてもらったという思いがあるので、下の人にはできるだけチャレンジする機会を与えたいですね。やはり見方がいい。そういう場を経験する



ことが、特に私たちのような仕事には絶対に必要です。

伯井 ●管理職の立場だと自分を律し続ける必要があると思うのですが。

宇都宮 ●もちろん組織の長をやるというのは、孤独じゃないと言えれば嘘になりません。最終的には自分で決めなければなりません。



ませんし、言えない、言っただけじゃないことあるのですが、それを克服するエネルギーがどこから湧いてくるかと言えば、人と一緒に仕事をしたり、お客様に喜んでいただいたり、単純に言うとう売上が良かったり、そういうことがガソリンになります。長くやっていると覚悟をする場面というのがいくつかありますが、それは時間が過ぎればいつの間にか越えているものです。

伯井 ●それは自分で乗り越えたつもりはないんだけど、ということですか。

宇都宮 ●この日までが締め切りとか、今日オープンとか、売上で言えば年度の終わりは必ず来ます。『商い』は『飽きない』ですから、やり続けることが大事なのです。いい

ことがあっても悪いことがあっても悲しいことがあっても、やり続けると先があるということをやっていると学ぶんですよ。全部がうまくいくことなんてありませんから。

伯井 ●ありがとうございます。

でも勇気づけられます。それに宇都宮さんは、女性で初めて店長になれるなど、開拓されてきた部分が多いですよ。ね。

宇都宮 ●私の場合、そもそも最初から高邁な精神で入社してないので、与えられた仕事に向き合ってきただけなのです。常にやっていると愛着がわくタイプなので、いつも今やっている仕事が好きなんですよ。ですから、女性で初だからと言っただけなのではないかと、たかないんです。

伯井 ●「女性初の」という枕詞がついても、それにプレッシャーを感じることはなかったのですか。

宇都宮 ●大抵の人は、嫌なことがあれば「大丈夫か」、部長になれば「頑張ってくださいね」と声をかけてくださいます。それもありがたいのですが、ある先輩部長はこう言ってくれました。「部長になったといつても、会社がしたんだから、何かあったって会社が悪いんだから、そう思っ

INTERVIEWER

伯井 集穂子さん 商学部 4年次生

奈良県出身。自営業の家庭に育ち「商売を学びたい」と、実学的な商学部を選択。モノを売る仕組みを知るためにマーケティングのゼミを専攻。来春からは、アパレルの大手製造小売業で店長候補として社会人生活をスタートする。

何よりも『商い』は『飽きない』ことが大事

私としては、モノを売るためにはどうすればいいのかということをお伺いしたかったので、『商い』としてやり続けていけば、どこかで人と人の接点が生まれてくるから飽きずにやり続けなさいとおっしゃったことにとっても勇気づけられました。正直言って私は働き始めることに奮えていて、頑張らなければとばかり思っていたのですが、辛いことがあっても誰かがちゃんと見てくれる、助けてくれるという言葉がすごくうれしかった。社会へ出る前の不安でいっぱい私には、とても胸に響くお話でした。宇都宮さんは、キャリアにしても今の輝きにしても、とても素敵な女性で、自分もそんな女性の1人になれたらと思うのと同時に、そういう女性が増えていけば、もっと女性が進出しやすい新しい社会が生まれてくるはずだという思いを強くしました。

て仕事しろ」と。そういうことを言ってくれたり、見ていてくれたりする人が必ずいて、それで助けられてきました。もちろん仕事をやる上では、何日も眠れないくらい辛いことが、何十年も仕事をしていけばいいことはないですが、必ず時が解決してくれるし、誰かがちゃんと見ていてくれるものです。

伯井 ●そうですね。私も宇都宮さんの言葉を信じて、来春から社会人として頑張ります。ありがとうございます。

自分自身が成長しているか。 その疑問が転職への ステツプボードになった。

現在の会社にはキャリア採用(中途採用)で入社しました。卒業後、最初に入った

商船三井の求人偶然、新聞広告で見つ

のは大手素材メーカー。もともと高校3年生の時に1年間休学して単身でアメリカに留学した経験があり、大学で英文学科を選んだのも、将来語学力を活かす仕事に就きたいという思いがあったからでした。就職活動をする中で、先端技術を世界に展開している素材メーカーに魅力を感じて入社を決意。希望の部署で働くことができ充実していたのですが、一方で、会社の力と自らのキャリアの中で培った経験則で仕事をこなしているだけで、自分自身が本当に成長できているのか疑問だったのです。入社して6年半、もう一度新しい事にチャレンジし、海外でも勝負できるビジネススマンになりたいという初心に戻り、自分を磨き直したほうがいいのではないかと、そう思ったのが転職を決めた理由でした。会社に不満があったわけではなく、かえって居心地がよすぎたのかもしれない。年齢的にも当時31歳で、環境を変えてリセットするには、ぎりぎりのタイミングだったと思います。

2008年9月末で素材メー

カーを退社、10月1日から当社での新しい生活が始まったのですが、海運業界でのキャリアを携えての転職ではありませんから、中途入社とはいえ状況は新入社員と同じです。経験はもちろん知識もありません。前職でそれなりに成功体験を持っていたこともあり、しばらくは適切なアウトプットを出せない自分へのもどかしさを感じる日々でした。入社後すぐに現在の自動車船部に配属になり、最初は船の運輸管理を半年、その後、日本発中近東航路の営業担当として、お客さまと契約条件の交渉や要望に沿った配船計画の立案、実行の仕事をする中、今後は所属する中近東・フリカチーム全体の運営を行う課長補佐業務に就いていますが、仕事に慣れるまで2年近くかかりました。

私たちが業務は貨物を運ぶスペースをお客さまに提供し、お預かりした製品を安全確実に目的地まで海上輸送することで、日本発だけでなく、外国から外国へのルートもあります。世界各地に当社の拠点

があり、現地のスタッフとも協力して航海を実行していく。国を超えて皆の力でお客さまに貢献し、成果を作り上げていくという実感が、今の私には何物にも代え難い喜びであり、やりがいです。

学生の皆さんに対して思うのは、学生時代に将来の自分を見据えて何かに挑戦することが大事だということです。具体的に何か行動を起こせば、失敗であれ成功であれ、その結果また次の課題や可能性が見えてきます。どういう方向へ進むのか悩むことも多いと思いますが、大いに悩み、ただ悩むだけでなく、挑戦し行動を起こしてください。その経験が社会人になっても必ず活かせると思います。

伊藤 雄太さん【2001年 文学部英文学科卒業】 株式会社商船三井 自動車船部 営業第二グループ 中近東・フリカ担当 課長代理

一般企業への就職を考える前、一時料理人を目指していた。3年次の夏に旅行したフランスのビストロで食べた料理の味に感動し、「この道を究めたい」と決意。1・2年次で卒業に必要な単位のほとんどを取得済みだったこともあり、その秋から京都・祇園のレストランで働き始め、4年次の夏から秋には再びフランスに渡って本格的な料理人修業を積んだ。しかし、その間も心の隅には「世界を舞台に働きたい」という思いがくすぶり続けており、悩みに悩んだ末、「企業に就職した方が自分のやりたいことを実現できるのではないかと、就職活動をする方向へ舵を切った。」「好きなことを深く掘り下げていくのは楽しかったし、技術を磨くのも面白かったが、厨房という限られた世界は、空間的にも精神的にも、伊藤さんにとっては狭すぎた。」「若かったせいもありますが、道を探してトライアル&エラーを繰り返す中で、自分の本当にやりたいことが見えてきたのです。少し回り道はしたが、それは伊藤さんの人生の中では決して無駄だった時間ではないだろう。

Swing the bat! 失敗を恐れずに まずバットを振ってきたから、今の私がある。

パブリシストとしてユニバーサルスタジ

オジャパンのメディア露出の戦略立案提

案や取材対応などを主に担当しています。

いつどのメディアでどのように取り上げ

ているのではと、自信を持っています。

『ゲストの期待を上回る感動とサービ

ていただくかの目標を立て、戦略的にPR

を提供する』これは当社が掲げるビジョ

ンと比べるのではな

メッセージを伝えると同時に、ブランドを

を上回り、アウトプットは常に向上してい

合ってほし

発信する広告と違って、パブリシティは第

の精神を支えるのが「Swing the bat!」

い。そして、

三者の表現を借りて発信するものではな

という当社のスローガンです。目指すゴ

自分を支

ら、取材者とのコミュニケーションが重要に

なさい、今までは違うオリジナルのやり

ている人

になります。露出する量だけでなく表現の質

という事です。既成概念にとらわれずい

ることに

にもこだわっている、単にイベントがあ

ろいろな事象を多方面から分析し、それま

に感謝

るという事実やコンテンツだけではなく、

では違う手法でバットが振れる人を会

し、社会

ゲストに楽しんでいただくためにこういう

社を評価します。私自身、随分バットを振

に出で自

演出をしています、楽しんでいただいた後

てきました。現在管理職として人を育

立するため

にはこういう気持ちでお帰りいただけ

てる立場にいますので、部下が自分でバ

ットの準備期

しようと、取材してくださいさる方にも物語を

トを振れるようサポートもしています。自

して、積極的

語るように伝えるようにしています。もち

ろんな経験をし

て、心を磨いてほしいと

ろん、メディアにとっても魅力的な番組を

ランを打つてくれることを期待していま

思っています。

作るといふメリットが必要ですから、双方

アで表現された時もそうですが、私にと

ては、部下が期待を超える成果を出して

れると純粹に、心の底からうれしいです。

大学時代、私は陸上競技部で選手生活

を送る中で、ライバルは他人ではなく自分

を送る中で、ライバルは他人ではなく自分

を送る中で、ライバルは他人ではなく自分

を送る中で、ライバルは他人ではなく自分

を送る中で、ライバルは他人ではなく自分



柳沢 洋子さん【1996年 商学部卒業】

株式会社ユー・エス・ジェイ マーケティング部 パブリシティチーム 課長代理

同志社女子高校時代、陸上部で汗を流す一方、友人と漫才コンビを組み、放課後には部活が始まるまでの時間に教室で漫才を披露。晴れ舞台の文化祭では立ち見が出るほどの人気ぶり。文化祭が終わるたびにファンの子がくれた花束で家中いっぱいになったという。「父が早くに他界し、母が苦勞して学校へ行かせてくれたので、母と祖母が私の舞台を観て笑ってくれるのがとてもうれしかった」という経験から「精神的な健康に貢献できる仕事」を希望し、大学卒業後は、東京のテレビ番組制作会社に入社。数年後「メディアの仕事のフィールドを広げたい」と思っていたところにユー・エス・ジェイのオープニングスタッフ募集があり、2000年6月に入社。取材する側から取材される側へと立場が変わった。就職の際には、「自分のメッセージを具現化できる仕事がしたい」、「自分のメッセージを社会に発信していくことが社会貢献につながれば」と考えていたという。在学生には、「社会に出て自分を通して何を伝えたいのか、何を通して社会貢献をしたいのかを明確にすることが大切です。企業のネームバリューに惑わされず、自分が発信したいメッセージは何なのかを分析し、就職活動をしてください」とアドバイスを送る。

八幡市文化センター大ホール(京阪八幡・京阪樟葉・近鉄新田辺・JR京田辺から、京阪バス「八幡市役所」下車すぐ)

- 12月17日(土)、18日(日) 書道部「同志社大学書道部・同志社女子大学書道部連盟展」
建仁寺西来院 10:00～17:00(最終日は16:00まで)無料
- 12月18日(日) 混声合唱団こまくさ「第42回定期演奏会～ここにあるもの～」
16:30～(16:00)1,000円
- 文化パルク城陽プラムホール(寺田駅下車東口より南へ線路沿いに直進450メートル徒歩約10分)

応援に行こう!～体育会試合日程

開催日時等は変更されることがあります。

- 【水泳部】
●2月11日(土・祝日)、12日(日) 日本選手権(25m)水泳競技大会

第22回 同志社京田辺 クリスマス燭火讃美礼拝

クリスマスはキリストの誕生を記念し、すべての人々が愛と信頼によって結ばれる未来を待ち望む祝祭です。キリストの希望を象徴するキャンドルライトの光のもと、共にクリスマスの礼拝を捧げましょう。皆さんのご来場をお待ちしています。なお、礼拝では手話通訳が行われます。

- 【日時】12月10日(土)
開場 16:00 / 開演 16:30(終了予定18:00) 入場無料
- 【会場】京田辺校地 同志社新島記念講堂(女子大学構内)
- 【お問い合わせ先】京田辺校地キリスト教文化センター
TEL:0774-65-7370

アドベント讃美礼拝・クリスマス礼拝

- 今出川火曜チャペル・アワー (17:30～)
クラーク・チャペル(予定)
アドベント讃美礼拝12月6日、13日
クリスマス礼拝12月20日
- 今出川水曜チャペル・アワー (10:45～)
クラーク・チャペル(予定)
アドベント讃美礼拝11月30日、12月7日、14日
クリスマス礼拝12月21日
- 京田辺水曜チャペル・アワー (10:45～)
キリスト教文化センター集会室
アドベント讃美礼拝11月30日、12月7日、14日
クリスマス礼拝12月21日
- 京田辺金曜ランチタイム・チャペル・アワー (12:40～)
キリスト教文化センター講座室
アドベント讃美礼拝12月2日、9日
クリスマス礼拝12月16日
- 【お問い合わせ先】
今出川校地キリスト教文化センター TEL:075-251-3320
京田辺校地キリスト教文化センター TEL:0774-65-7370

同志社 クリスマスキャンドルライトサービス

キャンドルの光のもと、皆さんで一つになって、イエス・キリストの誕生をお祝いしましょう。

- 【日時】12月23日(金・祝日) 開式18:00 / 開場17:30 入場無料
- 【会場】今出川校地 同志社栄光館ファウラーチャペル(女子大学・女子中高構内)
- 【主催】同志社クリスマスキャンドルライトサービス実行委員会
- 【後援】同志社中高・女子中高・国際中高・香里中高宗教部
同志社大学キリスト教文化センター・同志社女子大学宗教部
- 【お問い合わせ先】同志社女子大学宗教部 TEL:075-251-4141



2012年度同志社ローム記念館プロジェクト募集

同志社ローム記念館では、IT、メディアテクノロジーを創造的に活用し21世紀の文化創造を担う人材の育成を目指し、プロジェクト活動を展開しています。

現在、2012年度に実施するプロジェクトを募集しています。採択されると、プロジェクトルームが利用できる、必要経費が付与されるなど、1年間の活動に対するサポートがあり、プロジェクトによる学びの環境を得ることができます。あなたのアイデアを仲間とともにカタチにしてみませんか。詳しい募集要領やプロジェクトに関する情報は、ローム記念館Webサイト(<http://rohmdrm.doshisha.ac.jp/>)をご覧ください。

- 【2012年度プロジェクト活動期間】
2012年4月9日(月)～2013年3月25日(月)(予定)
- 【エントリー締切】2012年1月19日(木)17:00
- 【お問い合わせ先】京田辺校地総務課(ローム記念館事務局)
TEL:0774-65-7800
E-mail:jt-rohm@mail.doshisha.ac.jp

2012年度ホストファミリー募集～異文化に触れ、心の国際交流を～

国際センター留学生課では、夏休みを利用した短期プログラムで来日する留学生のホストファミリーを募集しています。海外からの留学生をサポートし、家族の一員として受け入れていただける方、興味をお持ちの方はぜひお問い合わせください。

- 【受入学生】2012年度、夏のホームステイプログラムに参加する留学生
*2011年度は「ハーバード大学サマースクール」と「アメリカ政府奨学金プログラム(CLS)」を実施しました
- 【受入時期】2012年6月～8月初旬頃
- プログラムにより、1ヶ月間と2ヶ月間の受け入れがある予定です
- 【条件・環境】今出川キャンパスまで片道約1時間以内 ・4畳以上の個室1部屋の提供(和室、洋室は不問ですが、寝具・勉強机、冷房の提供も併せてお願いします) ・朝・夕2食の提供
- 【謝礼】月額6万円
- 【その他】・1ホストファミリー1学生のみ ・インターネットが利用できる環境が望ましい
- 【お問い合わせ先】※資料をお送りいたします
国際センター 留学生課
TEL:075-251-3257 E-mail:ji-ois@mail.doshisha.ac.jp

今出川校地 キャンパスツアーガイド募集

キャンパスツアーは、研修を受けた在学生在が受験生や一般の方と共にキャンパスを巡りながら、同志社の魅力を伝える仕事です。今出川校地内の重要文化財建築物や、同志社の建学の精神を紹介する中で、在学生の皆さんにとっても母校同志社の新たな発見につながるはずです。今出川・京田辺の学生を問わず、積極的にご参加ください。

- 【時給】880円
- 【お問い合わせ先】同志社エンタープライズ TEL:075-251-3043

Hardience(ハーディー友の会)メンバー募集中!

同志社大学今出川校地学生支援課では、より多くの方に、寒梅館のイベントをきっかけとして本学および本学学生の活動に関心を持っていただくために、私たちとともに催しを盛り上げていただける方を募集しております。お申し込みは、今出川校地学生支援課窓口にて、随時受付中です。

- 【対象】一般・他学生(本学学生・教職員は対象外とさせていただきます)
- 【会費】無料
- 【特典】寒梅館イベント情報の郵送(希望者のみ)、案内メール配信、映画招待券やコンサート入場券のプレゼント(抽選)・入場料割引、学生団体による公演・お芝居等へのご招待、寒梅館レストランでの割引 etc.
- 【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

A N N O U N C

ビジネスプランコンテスト開催

「同志社大学New Island Contest」は、今年で8回目を迎えるビジネスプランコンテストです。予選を勝ち抜いたチームが個性豊かなビジネスプランを発表しますので、ぜひ聞きに来てください。

【日時】12月10日(土)13:00～

【場所】今出川校地 至誠館32番教室

【主催】同志社ベンチャートレイン、リエゾンオフィス

【お問い合わせ先】リエゾンオフィス TEL:0774-65-6223



WOT(ワット) = "What's on Thursdays!"

「木曜日には何かがある！」を合言葉に、開講期間中の毎週木曜日、映画上映を中心に多彩なイベントを開催します。

【会場】寒梅館ハーディーホール

【料金】本学学生・教職員はすべて無料／一般は有料

●12月1日(木) 映画上映 『最後の忠臣蔵』(2010年/日本/133分)
10:30～/13:30～/16:00～/18:30～

*一般 当日 1,300円/

Hardience会員・他大学生・前売り 1,000円

●12月8日(木) サリナジョンズ ウィズ フレンズ クリスマスナイト2011

【お問い合わせ先】エースプロモート TEL:06-6341-1171

●12月15日(木) 《ニコラス・レイ生誕百年記念上映会》

14:30～/19:20～『ウィ・キャント・ゴー・ホーム・アゲイン』

16:30～『あまり期待するな』

18:00～レクチャー(加藤幹郎氏)

*一般 1,500円/会員 1,200円(入替なし)

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

*内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。



クローバーシアター

開講期間中の毎週火曜日、寒梅館のミニシアター・クローバーホールでは、映画史に残る名作を中心に様々なイベントを開催します。

【会場】寒梅館クローバーホール(地階)

【料金】本学学生・教職員はすべて無料／一般は催しにより有料

●12月6日(火) 映画上映 *詳細未定

●12月13日(火) 《リュック・フェラーリと ほとんど何も無い》

『プリズムの色、時間のメカニック』『引き裂かれた交響曲』

上映&トーク(ゲスト:ジャクリーヌ・コー女史、

ブリュンヒルト・フェラーリ女史、椎名亮介氏)

17:00～ *500円均一

●12月16日(金) 《槍垣智也アークスマティックライブ》

18:00～ *500円均一

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

*内容は都合により変更となる場合があります。詳細はお問い合わせください。

～戦前戦後通算60回～

第47回全同志社メサイア演奏会【字幕付】

キリストの降誕・受難・復活を讃えるヘンデル作曲の大曲「メサイア」は、キリスト教精神を徳育の基本に据えた本学の学風の中で長年にわたり、学生、教職員、卒業生、また地域の人々に愛されてきました。ご来場の皆さまには、素晴らしいクリスマスイブをお過ごし頂きますよう、一同心を込めて演奏します。是非お誘い合わせのうえご来場ください。

指揮：金 洪才

合唱：同志社メサイアコーア、メサイアシンガーズ、同志社グリークラブ

オーケストラ：同志社交響楽団

【日時】12月24日(土)開演18:00 / 開場17:00

※A席のみ当日16:30より座席券交換

【会場】京都コンサートホール大ホール

(京都市営地下鉄烏丸線 北山駅下車 1番出口より南へ徒歩3分)

【料金】S席[事前座席指定]2,000円(※S席は前売りのみ販売・座席券交換の必要はございません) / A席[当日座席指定]1,000円

【販売】チケットぴあ TEL:0570-02-9999

http://t.pia.co.jp (Pコード147-010)

京都コンサートホールプレイガイド TEL:075-711-3090

同志社大学生協京田辺旅行カウンター TEL:0774-65-8376

同志社大学生協今出川プレイガイド TEL:075-251-4433

【主催】全同志社メサイア演奏会実行委員会 【後援】学校法人同志社

【お問い合わせ先】全同志社メサイア演奏会実行委員会

TEL:080-3864-2412 (有野)

E-mail:doshisha.messiahconcert2011@softbank.ne.jp



はふらっとプログラム

【会場】京田辺校地ハローホール 【料金】無料

●12月2日(金) 映画上映 『SUPER 8』(日本語字幕版/2011年/111分)
12:30～/15:00～

●12月21日(水) ドラム&パーカッションリズムバトルコンサート

「からくりリズム～振り替え公演～」

開演17:15

【お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課 TEL:0774-65-7413

♪観に行こう聴きに行こう♪

—学生団体12月～3月の活動予定—

【寒梅館ハーディーホール】

●12月4日(日) 学生混声合唱団C.C.D.「第59回定期演奏会」

17:30～(17:00)800円

●12月10日(土) グリークラブ「第107回同志社グリークラブ

定期演奏会」 17:30～(16:45)1,000円

●12月17日(土) コールフリーゲル「第45回定期演奏会」

17:30～(17:00)500円

●12月18日(日) 雅楽会「定期演奏会」

17:30～(17:00)無料

●12月23日(金) ピアノ研究会「第12回定期演奏会」

15:00～(14:30)無料

●12月28日(水) 応援団「アトムフェスティバル」

時間未定 無料

●2月18日(土) グリークラブ「第107期卒団生のための

フェアウェルコンサート」 時間・入場料未定

●2月19日(日) 学生混声合唱団C.C.D.「フェアウェルコンサート」

時間・入場料未定

●2月25日(土) ピアノ研究会「卒業コンサート」 15:00～(14:30)無料

●2月26日(日) コールフリーゲル

「京都フェアウェルコンサート2012」 時間・入場料未定

●3月10日(土) 交響楽団「フェアウェル演奏会」 18:00～(17:30)無料

【寒梅館クローバーホール】

●2月19日(日) 邦楽部「フェアウェルコンサート」

時間・入場料未定

【京田辺校地ハローホール】

●12月10日(土) とんがりぼうし「3回コン」

時間未定

●12月17日(土) F.S.S.「クリスマスコンサート」

12:00～予定

●12月24日(土) F・A・C「定期演奏会」

時間未定

●1月7日(土) F・A・C「1月定演」

時間未定

●1月21日(土) とんがりぼうし「フェアウェル」

時間未定

●3月3日(土) Hocus-Pocus「卒業公演」

15:00～

【学外】

●12月4日(日) マンドリンクラブ「第159回定期演奏会」

15:00～(14:30)500円

京都府長岡京記念文化会館(阪急電鉄京都本線長岡天神駅から徒歩6分)

●12月10日(土) 応援団吹奏楽部「第42回定期演奏会」

18:00～(17:30)無料

Special Interview

自分で考え、行動する。 同志社での経験が世界を制した。

東日本大震災で沈みがちな日本に、明るい笑顔をもたらした女子サッカー日本代表「なでしこジャパン」。国民栄誉賞を初めて団体受賞したその栄えあるチームの一員に、本学の卒業生がいる。ゴールキーパーコーチの前田信弘さん。

「自分で決断して自分で動く。自己決定しないといけない。サッカーはそういうスポーツなのです」と言う前田さんの指導方針の原点は、体育会サッカー部での4年間にあった。

小学校6年生でサッカーを始めて以来、ポジションはGK一筋。高校までは全国大会に縁がなかったが、大学で初めて、全国の舞台で活躍する場を得た。

「大学では監督やコーチから厳しく指導されるということがありませんでした。クラブ自体、先生の助けを借りながら学生自身が主体となつてつくりあげていくというスタイルで、先輩、後輩の上下関係もあまりありません。たまた、逆に自分で考えることをしなければ、時間を無駄に過ごしてしまう。考える習慣、癖が身についたのは、まさに大学時代でした」。

2年次で正GKのポジションをつかみ、卒業後、華々しくスタートしたJリーグの、しかもトップチームだった全盛期のヴェルディ川崎に入団。だが「自分の実力は分かっていて」という前田さんは、その後、試合出場を求めて神戸、清水、そして新潟へと所属を変えながら、やがて「指導者に新しい夢をかけよう」と思うようになる。

女子の日本代表コーチに招聘されたのは2007年。選手生活の最後を過ごしたアルビレックス新潟シンガポールの監督だった大橋浩司氏がなでしこジャパンの監督に就任したことから声がかかった。代表監督が佐々木則夫氏に代わっても、コーチとして前田さんに寄せられた信頼は変わらなかった。

「キーパーに必要なのは心技体のすべて。ミスする度にいちいち落ちこんでいるわけにはいかないし、最後は自分で解決するしかありません。コーチは手助けしますが、かまう量をいかに減らして自立させるかが重要な点です。この点は、サッカー部のスタイルが活かしていますね」。

ロンドン五輪への切符も手にし、メダル獲得へ向けた次の戦いがすでに始まっている。

前田 信弘さん [1996年 経済学部卒業]
なでしこジャパン(日本女子代表) GKコーチ、
U-19日本女子代表 GKコーチ、ナショナルトレセン
コーチ(北信越 GK担当)

1973年生まれ、香川県丸亀市出身。小学校6年でサッカーを始め、丸亀市立東中学校、香川県立丸亀高校を経て1992年同志社大学入学。卒業後の1997年ヴェルディ川崎入団。その後ヴェイセル神戸、清水エスパルス、アルビレックス新潟と移り、2004年、アルビレックス新潟シンガポールに期限付き移籍(コーチ兼務)。同年限りで現役を退いた。2007年になでしこジャパンのGKコーチに就任。2008年から日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフを務めている。

